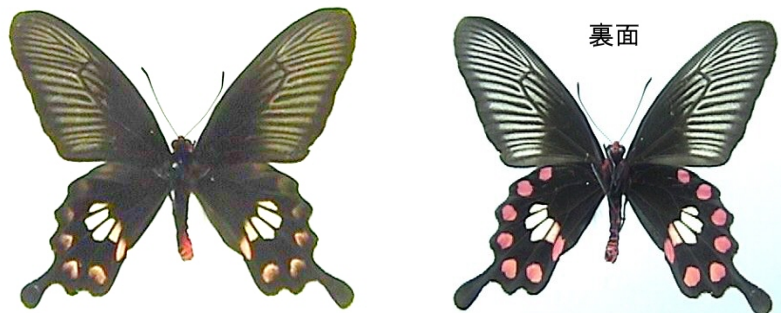


1993年9月4日 石垣島バナナ公園

公園裏手の道沿いにはスジグロカバマダラとリュウキュウアサギマダラが多く、ときおりベニモンアゲハがパタパタと抑揚のないはばたきで道を横切って山手の林内に消えてゆく。ツマベニチョウをひとまわり小さくした位の、それでもモンシロチョウなどよりははるかに大きいシロチョウの仲間が敏捷に飛び交う。ウスキシロチョウのようだ。ウラナミシロチョウの不完全体も見られる。

1993年9月5日 石垣島川平

自転車くらいは通れるしっかりした細いあぜ道をさらに進むと右手には厚みのある防風林、左側一帯はサトウキビの収穫あとだろろうか荒れほうだいとなった畑地にシロノセンダングサが恰好の花畑を形成している場所に出る。防風林木陰の高い位置からいきなり大型のオオゴマダラが現れる。そのゆったりとした飛翔には独特の風格を感じる。周りをよく観察すると左手遠くの畑地との境界にある林周辺にもフワリフワリと数頭のオオゴマダラが漂うように舞っているのが見える。さて、花畑にどんな蝶達が遊んでいるかだが、あいかわらず多いのがスジグロカバマダラとリュウキュウアサギマダラだ。白さがめだつヤマトシジミ亜種が足元をチラチラと飛びまわっている。裏面の濃いピンク赤色紋がひとときわ鮮やかで美しいベニモンアゲハが仮の花畑となった休耕農地をほとんど水平飛行で横切ってゆく。



石垣島川平 Sep.5,1993 ベニモンアゲハ♂ 石垣島川平 Sep.5,1993 ベニモンアゲハ♂

2001年9月7日 石垣島バナナ岳入り口

バナナ岳入り口の墓地まわりにシロノセンダングサの繁みがあって、ジャコウアゲハ、クロアゲハ、ヤエヤマカラスアゲハ、ウスキシロチョウ、ツمامラサキマダラ、リュウキュウアサギマダラが群れて蜜を吸っている。ときおりベニモンアゲハが独特のはばたきで現れる。ツمامラサキマダラを捕獲してみるが新鮮ではないのでリリース。

2004年9月15日 石垣島バナナ岳周回道路

バナナ森林公園まであと数十メートルという道路脇に民家があり、小さい森沿いに開けたブッシュ空間をヒラヒラと舞っているのはベニモンアゲハ。目の高さより上を水平に飛ぶ際にひととき目立つとてもきれいな羽裏面のベニ色を映像記録できればいいのだが、どの動きも早くて結局は葉上で羽を休めるタイミングの写真を撮るだけであきらめる。

さて、再び訪れたバナナ森林公園周回道路のポイントは、昨年満開状態だったサンダンカがすっかり刈り込まれて花の数が数えるほどしかなく、山側斜面をピンク色に染め上げていたブーゲンビレアはひとつの花もつけていない。山肌を覆うように咲き誇っていたクロバナツルアズキやオオバナセンダングサはかけらもなく、あきらかに人為的管理がもたらした変貌ぶりに唖然とする。



Apr. 26, 2017 沖縄伊豆味

多くのチョウとの出会いが期待できる伊豆味地区へと移動。幸いにも青空も見える状況となり、車を止めた広場のすぐそばでいきなりアオタテハモドキのメス個体をみる。シロノセンダングサが多く茂る一角では、アオタテハモドキのオスや、モンキアゲハが小さな青紫の花で蜜を求め、木陰となった路傍のシロノセンダングサに、筆者にとっては初記録となるオオシロモンセセリが

やってくる。新鮮度の低い夏型のタテハモドキや、緑色の輝きが美しいナナホシオオキンカメムシもみられる。アオタテハモドキの新鮮オス個体や、翅の傷みがあわれなタテハモドキがシ



ロノセンダングサの花蜜を楽しみ、イシガケチョウが吸蜜するシーンもみる。さらには全く想定外の、ベニモンアゲハの新鮮個体が現れてシロノセンダングサの花蜜を夢中で吸う光景をじっくりとビデオ撮影。